

10. 図書室整備による院内学術情報利用の動向

加古川中央市民病院 人事部 藤原 純子

【要旨】

当院の図書室は、移転統合後の2017年3月に司書が着任し、整備を開始した。2017年4月から2019年3月の3年間に室内整備や図書室管理規定の作成、データベースによる貸出や蔵書管理、電子リソースや文献取寄せ環境の充実と周知を行った。

この間の利用統計をもとに、図書や雑誌文献、データベースなどの院内学術情報利用がどのように変化してきたかを報告する。

【はじめに】

病院図書室は、医療法第22条にて「地域医療支援病院が有し、かつ、記録を備えて置かなければならない。」設備の一つに定められている。1)また、臨床研修病院の指定や各学会の施設認定にも図書室や雑誌、文献検索データベースの整備が要件とされている。

当院に関わる職員や研修医、実習生等の利用者が必要とする情報が必要な時に入手できることを常に意識して取り組んでいる。

【整備・取り組み】

具体的な整備としては、まず1年目の2017年に室内整備と図書室運用規定や貸出システムの作成、文献取寄せ環境と電子リソースの整備を行った。

室内整備は移転統合前の加古川西市民病院と加古川東市民病院から集められた雑誌の整理と並び替えから始め、図書は医学図書館でよく用いられる米国医学図書館分類法(NLMC)にて分類し、配架を進めた。また、図書室以外の各部署で管理している図書もデータベース(FileMakerPro14)に登録し、一元管理できるようにした。貸出はFileMakerで作成した蔵書管理データベースと貸出管理データベースを連携させて管理している。職員は貸出利用簿に記入することで、24時間365日貸出利用ができる。返却図書は返却ボックスに入れることでいつでも返却できる。貸出利用簿の情報と返却情報をデータベースに入力し、長期延滞で他の利用者に支障が出ないように管理している。

文献取寄せ環境は、それまでIMIC(国際医学情報センター)だけに頼っており、入手できない文献があった。そこで新たにNACSIS-CAT/ILL(国立情報学研究

所目録所在情報サービス、相互貸借サービス)と近畿病院図書室協議会に加盟し、全国の大学や病院、研究機関からの文献入手を可能にした。そのほかにも国立国会図書館の機関利用登録や文献手配業者などの利用で取り寄せ依頼のあった文献は99%提供できるようになった。

2年目の2018年には、雑誌の購読タイトルの見直しや電子リソースの充実に取り組んだ。電子ジャーナルは利用統計をもとに高額なのにダウンロードされていない雑誌は見直しを行い、個別購読からClinical Key(Elsevier社)やMedical Finder(医学書院ほか)のようなまとめ買い製品に切り替えた。外国雑誌の購読雑誌数は2017年51誌だったものが2018年は707誌に増加し、国内雑誌は1,325誌から1,430誌に増加した。ハード面では図書室利用者が文献検索や資料作成に利用できる利用者用PCを2台設置した。タブレット端末や院外での利用も可能になるよう、医中誌Webや電子ジャーナルはリモート利用ができるように契約変更や設定を行った。

3年目の2019年には、室内レイアウトの変更とリンクリゾルバの導入、近畿病院図書室協議会の機関リポジトリに参加した。室内レイアウトは、老朽化した雑誌架から図書用の書架に変更し、限られたスペースを有効に活用できるようになった。また、コピー機を入り口付近に設置するなど利用者動線に配慮したレイアウトに変更した。リンクリゾルバとは、Web上の各種検索データベースから所蔵図書、雑誌、文献やOpenAccess情報にナビゲートするシステムである。2020年のPubMedリニューアルにともない、これまで無料で当院の所蔵雑誌のリンクバナーを表示していたLinkOutサービスが終了し、所蔵を示すにはリンクリゾルバが必要となることから各社製品のトライアルと比較を経てSFX社のリンクリゾルバを導入した。PubMedや医中誌Webの検索結果に表示される所蔵バナーに加え、GoogleScholarやCiNii、各種検索データベースから契約電子ジャーナルやOpenAccess論文にアクセスできるようになり、画面上で図書室へ文献取寄せ依頼ができるようになった。機関リポジトリは、著作権許諾済みの当院職員の執筆した論文や雑誌記事をインターネットで公開する取り組みである。単にウェ

ブサイトで公開することと異なり、リポジトリではメタデータを登録することで医中誌 Web など各種文献検索データベースで検索できる学術情報として公開することができる。病院図書室でのリポジトリは国内では日本赤十字社の日赤リポジトリと近畿病院図書室協議会共同リポジトリ、単独または地域リポジトリと少なく、兵庫県内では当院が4施設目のリポジトリ実施病院となった。研究成果を公開することは、組織や研究者（執筆者）の信頼性を高める。流通が少なく文献の入手が困難な病院や小規模な学会の刊行物は公開することに大きな意義がある。

【利用動向の変化】

これらの取り組みをふまえ、図書、電子ジャーナル、データベース等院内学術情報の利用動向を報告する。まず、図書室内の図書と雑誌の貸出件数は、貸出ルールの整備や図書の増加に伴い、年間の合計貸出冊数は2017年度287冊、2018年度448冊、2019年度697冊と増加を続けている。(図1)

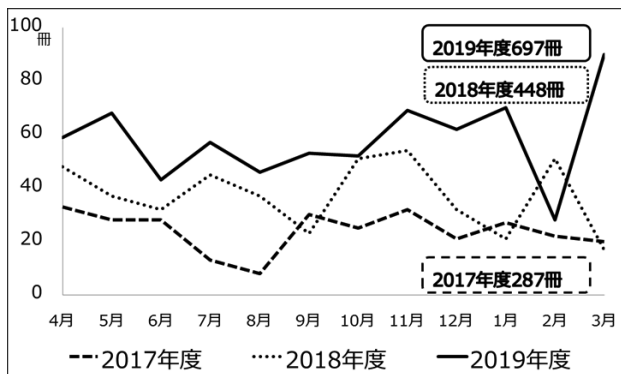


図1：貸出件数の推移

文献取り寄せについては、整備前の2016年からの比較をグラフに示した。(図2)より多くの文献が入手できるようになったこと、医師以外の職種の利用も増加したことで、取り寄せ件数は年々増加している。一方、文献取り寄せ環境を整備することで、1件あたりの取り寄せ料金を抑えることができ、手配にかかる費用は年々減少した。

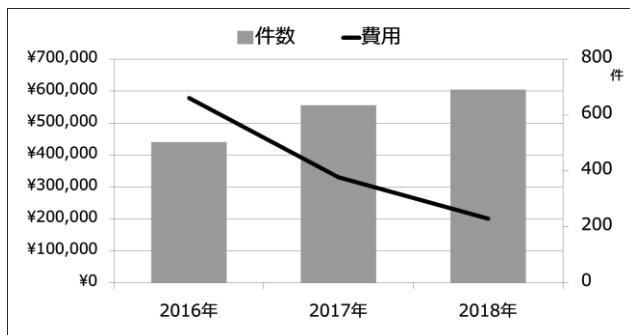


図2：文献取り寄せ件数と費用の推移

電子ジャーナルは、整備を開始した2017年3月時点では、月150論文しかダウンロードされていなかった。利用案内やパンフレットの配布、オリエンテーションや掲示物にて案内を行い、PubMedや医中誌Webなどの検索データベースからのリンクアウト（論文の検索結果に本文へのリンクバナーを表示すること）を設定することでダウンロード論文数は増加し、より多くの要望に応えることができるようになった。(図3)

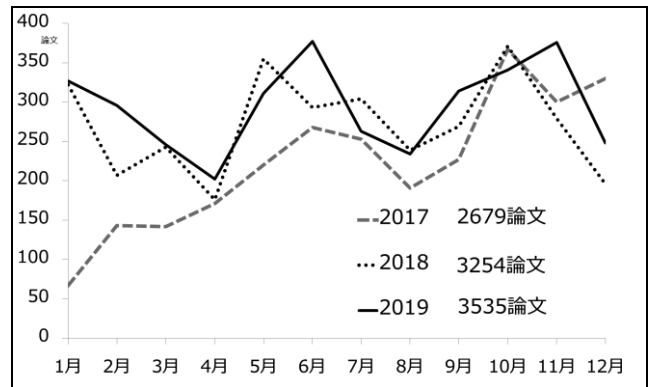


図3：外国雑誌電子ジャーナルの利用の推移

文献検索データベース「医中誌Web」も2017年の検索回数16,601回から2018年には23,141回、2019年28,318回と増加した。「UpToDate」も同様に6,926回/年から10,577回/年に増加した。特に4月の入職オリエンテーション後の伸びが大きく利用案内と広報の効果がみられた。(図4)

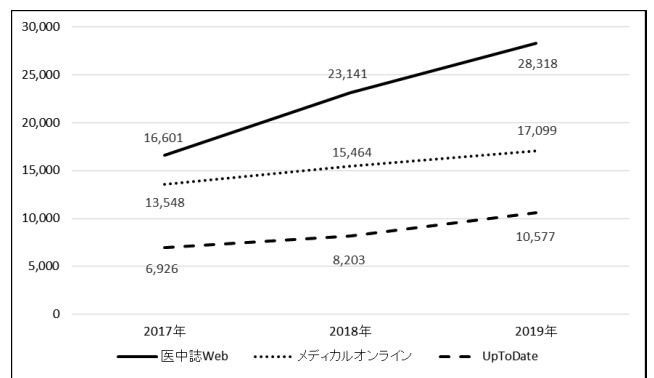


図4 データベース年間検索回数の推移

また文献検索方法やデータベースの利用方法の問い合わせ、代行検索、文献に関するさまざまな調査への対応を調査相談サービスとして件数をカウントしてきた。このサービスについても、2017年67件、2018年95件、2019年159件と年々増加している。少しずつ図書室と司書が認識され活用されていく様子も見られた。研究や論文執筆の際の先行研究調査や図書、雑

誌、検索データベースに関する問い合わせなど、いつでも気軽に図書室にお問い合わせいただきたい。

【今後の課題】

これまでの整備で、必要な文献を入手できるという最低限の環境は整えることができたが、図書の整備はまだまだ不十分である。図書室の蔵書を分類ごとに表示すると（図5）の通りである。寄贈や各科からの移管に頼ってきたため、分野によって非常にばらつきがあり、内容も古いものが多い。2019年度から図書室の図書購入予算を計上し、少しずつ少ない分野の図書や研究に必要な図書を購入できるようになった。今後リクエストなど利用者の声も伺い充実させたい。

当院では各診療科や部署の研究予算で図書を購入し、分散管理している。業務に常に必要とされる図書は各部署に設置する必要があるが、部署を超えて多職種で必要とされる図書は図書室で共同利用した方がいつでも誰でも利用することができ、予算も有効に活用できる。現在は同じ図書を多くの部署で購入していることもある。急な変更は難しいため、まずはどこの部署に何があるか検索できる蔵書管理データベースの院内公開を実現させたい。

蔵書以外の部分では、取り組みでも記載したりポジトリでの論文のオープンアクセスを推進・支援したい。すでに公開されている職員の論文は、公開してから1ヶ月で47回ダウンロードされた。当院で発行している機構学術雑誌も毎月全国の大学・病院図書室から複写依頼が届いており、特に依頼の多い文献から公開の打診をしていきたいと考えている。

また、地域医療支援病院として、地域の大学図書館、公共図書館との連携や地域の医療従事者に対する支援も検討したい。

医学情報を取り巻く環境は変化が早く、最近ではPubMedでPrePrintが収録されるなど情報の質にもより注意が必要になった。今後も最新の学術情報の動向に対応したサービスを提供できるよう尽力したい。

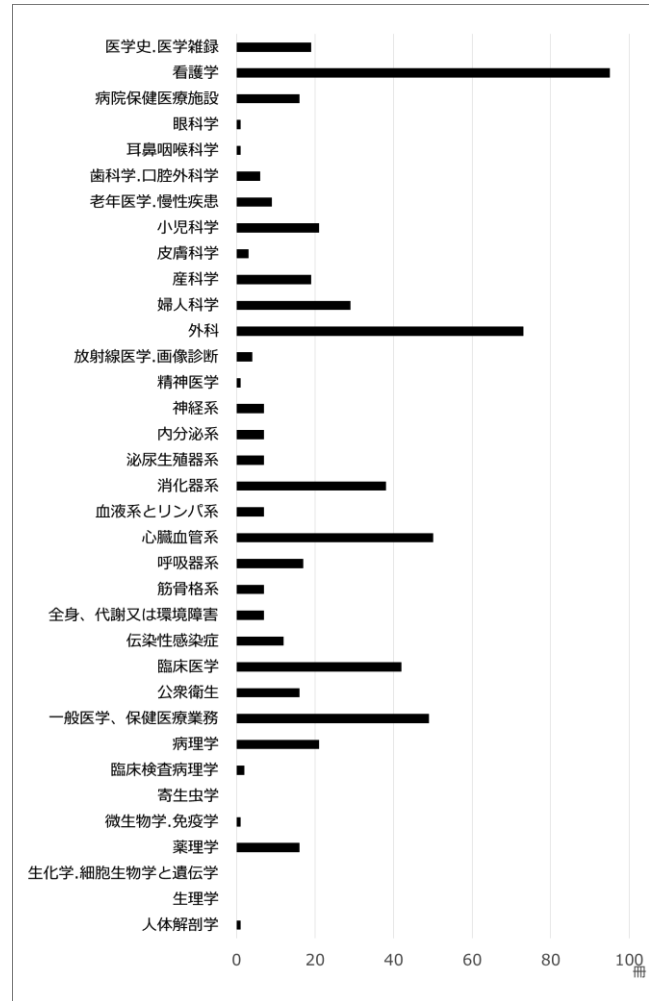


図5：分類別 図書室所蔵図書

【文献】

- 1) 医療六法. 令和2年版, 中央法規, 東京. 2020. 2
- 2) NACSIS-CAT/ILL: 国立情報学研究所
<https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/> (2020. 6. 17 アクセス)

【Keyword】

病院図書館、図書館運営、相互貸借、蔵書構築